



Title	芒亭書屋談叢
Author(s)	芒亭
Citation	各務時報, 90
Issue Date	1936-01-30
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/77685
Type	column
File Information	A010_12738491_Part9.pdf



[Instructions for use](#)

報

時

務

各

號十九第

會友々校學林農等高阜岐

行發日十三月一年一十和昭

17



(りとほの池)

芒亭書屋談叢

近時頻りに起りつゝある農村に於ける塾風教育の機
關は、經營主體が縣や産業組合や農家小組合等の場合
もあるが、塾風教育の名に最もふさはしいものは特殊
の個人が經營して居る場合である。其經營者或ひは中
心人物の抱懐する信仰捧持せる宗教が斯くの如き塾の
生命である事は勿論であるが、其は明らかに個人によ
つて異つて居るから、教育の内容は塾毎に随分色々變
つて居る様である。然し其にも拘らず、此等の機關に
共通したものがある。精神的鍛練を主として、人物を
作らうとして居る事である。村の中堅人物を作るのだ
と云はれて居る。中には雄大なる國士の氣魄を打ち込
まうとして居るところもある。即ち日夜聖賢の道に親
ましめ國家興亡の理を講じ志を天下國家に向はしめん
として居る。一家一郷の經營にも一國經綸の器量が必
要であるからであらうか。

今夜は妙に底冷えがする。明日は雪かも知れぬ。